

【不良土を早期に曝気させ、 普通土として利用できる新技術】

帯広開発建設部

令和7年9月1日作成

注意: マッチング成立時には現場試行調査及び発注者指定での活用することを前提としております。

1. 技術を求める背景

高規格道路建設にあたり、高切土箇所において不良土が産出すると、事業費の大幅な増大が懸念される。高液状限界による不良土や高含水比の火山灰質粘性土は、道路盛土に適さない性状であることから、セメント系固化材による土質改良を行っているが、事業費の増大、工事工程の遅延が余儀なくされる。これらの不良土を早期に曝気させられる工法があれば、コスト縮減および生産性向上が期待できる。

2-1. 求める技術とスペック

記載項目の例

- ・ 盛土材の含水比を早期に低減【品質向上】する技術
- ・ 技術に求める具体的スペック【高含水比の不良土を早期に普通土として利用可能】
- ・ 提案企業に求められることが想定される作業規模【現況の土質改良工法より安価、施工性の向上、工期短縮が期待できること】
- ・ 装置に求める要件【特になし】
- ・ スケジュール【特になし】

本案件において、全工程の一部の解決に資する提案でもエントリー可能ですか

【可】不可

2-2. 求める技術とスペック

写真・図 等 資料・イメージ



3. 提案にあたっての条件

●mustの条件

- ・実証実験の許認可取得を企業側で行うこと。装置の提供のみではなく、設置および保守管理を行うこと。

●mustではないが、望ましいまたは期待する条件

- ・装置の提供と設置のほかデータ収集と検証ができる企業が望ましい。降雨時等の状況下でも施工できる技術が望ましい。

●必ず不可とする条件

4. 留意点

- その他、案件に関する前提条件や留意点、提案企業に提案書に記載して欲しい事項があればご記載ください。